

平成 28 年度事業活動報告書 及び平成 29 年度事業計画



The Volunteers Group
to Send Wheelchairs
to Overseas Children
JAPAN

特定非営利活動法人
海外に子ども用車椅子を送る会

URL: www.kaigaiKurumaisu.org

平成 28 年度事業報告

1. 車椅子収集事業

不要になった車椅子は、首都圏の肢体不自由児の特別支援学校や養育施設など PTA の方々や自立支援活動部の先生方の協力をいただき、**33 の学校・養育センター**から 694 台の提供を受けました。個人からの持ち込みを加えると 750 台になりました。特に本年度は新たに7つの学校から 188 台の提供があり、その分昨年度より増えました。

都県別年度別の学校数と収集実績は次の通りです。

首都圏肢体不自由児特別支援学校からの収集台数

都・県 (拠点数)	2013 年 (学校数)		2014 年 (学校数)		2015 年 (学校数)		2016 年 (学校数)	
東 京 (22)	28 台	(12)	284 台	(13)	214 台	(11)	229 台	(12)
神奈川 (15)	145 台	(8)	162 台	(10)	114 台	(6)	170 台	(9)
埼 玉 (9)	143 台	(4)	183 台	(6)	147 台	(5)	163 台	(7)
千 葉 (6)	75 台	(2)	76 台	(3)	26 台	(1)	132 台	(5)
合 計 (52)	651 台	(26)	705 台	(32)	501 台	(23)	694 台	(33)

多くの学校の PTA が年中行事として会員から車椅子を収集する活動が定着し、全体の約 65%の学校から毎年定期的に車椅子を提供していただいています。平成 28 年度は車椅子メーカーの下取りと個人からの持ち込みが年間約 100 台ありましたので、**収集台数は約 800 台**となりました。



PTA 会員の皆さんからは、処分するのはモットイナイ、海外の子ども達に是非使ってほしい、との善意から、PTAの年間行事として収集活動が定着してきました。

当会は車椅子のほかに、座位保持椅子、補そう具なども収集していましたが、座位保持椅子は海外で屋内用と区別されず、屋外で使われて破損が多いこと、補装具は適合する子どもが少なく十分活用されないために、昨年 12 月に支援学校のPTAにご理解いただきたく書面でお知らせして座位保持と補装具の収集を取りやめました。

2. 車椅子の整備事業

当会の毎月行われる例会には大学生や高校生をはじめ支援いただいている企業の方々の方々や在日ベトナム人やエチオピアの方が、ボランティアとして昨年より 10%増えて毎月平均 45 名、年間延べ 540 名の方々が整備活動に参加し、年間 370 台の車椅子の洗浄、修理整備、梱包作業をすることができました。



一方、福生市にある NPO 青少年自立援助センターでも、当会役員で車椅子メーカーの社長から指導を受けて年間 340 台の整備を行いました。



車椅子メーカーの方やシニア技術者の指導を受け、車椅子の安全性や耐久性を考慮し、タイヤやブレーキのチェックをして補修整備作業をしています。昨年からタイヤにゲルを注入して空気が抜けにくく、パンクも少なくなるような対策を行っています。

3. 車椅子発送事業



車椅子は丁寧に梱包されて、コンテナに積み込んで船便で各国へ発送しています。

平成 28年度寄贈実績

(＊外務省 NGO 連携無償資金協力支援事業)

インド	6 月	90 台	障害児支援団体
ミャンマー	6 月	90 台	国立リハビリ病院、ヤンゴン子ども病院
マレーシア	9 月	80 台	ALEPS 元日本留学生同窓会
ベトナム ＊	10 月	170 台	ベトナム赤十字各支部
カンボジア	12 月	90 台	社会福祉省障害支援局
マレーシア	12 月	78 台	ALEPS
ラオス ＊	1 月	90 台	ラオス障害児支援協会
タイ	3 月	99 台	タイ肢体不自由者協会

合計 787 台 (計画比 111% 昨年比 82%)

2004 年活動を始めてから累計で 23 カ国へ 6,068 台となりました。



ベトナム・タンホアでの贈呈式



インド・パカナシでの贈呈式



ラオス・ビエンチャンでの贈呈式



カンボジア・プノンペンでの贈呈式

当会は車椅子が現地に届いた後、受入団体と贈呈式を行い、適合する子どもに車椅子を貸与し、子ども車椅子の使い方や修理の方法などを指導しています。そのあと各家庭を訪問し、活用状況の確認を行うことでプロジェクトの検証と評価を実施しています。

贈呈式や現地訪問の様子など詳しくは当会HPや「活動レポート」を参照ください。

4. 活動広報事業

私共の海外での活動に加えて、現地の様子や海外の受入団体と子ども達の感謝の気持ちを具体的に支援者の方々にお伝えするために「活動報告レポート」を年4回発行しています。

さらにウェブサイトで日本での活動をはじめ海外での事業の内容を、タイムリーに広報するよう努めていますので、随時ご参照ください。 <http://www.kaigaikurumaisu.org>

本年NPO設立 10 年が経過し、これまでの事業を総括して当会事業紹介を紹介する冊子「世界の子どもたちに動ける自由と喜びを」を発行し支援団体などに配布しました。

5. 当会の財務状況

当会が運送業者のトラックを手配して車椅子を特別支援学校から収集し、整備をして、海外へコンテナで送る国内及び海外輸送にかかる費用などを計算すると、届ける国への距離にもよりますが、1台平均約1万円です。それらの費用は当会の活動に賛同いただく会員の会費と支援者（個人及び団体）の寄付金それに民間助成や公的助成の支援資金で賄っています。

別表の収支報告書の通り、平成 28 年度は個人・企業からの寄付金や公的助成金をいただくことができ、787 台の寄贈の費用を賄うことが出来ました。当会がこれからも活動を継続していくためには安定した資金の確保が最大の課題です。

どうか引き続きご支援ご協力をくださいますよう、心からお願い申し上げます。

平成 27－28 年度収支実績と平成 29 年度収支予算書

(単位 円)

	平成 27 年度 収支実績	平成 28 年度 収支実績	平成 29 年度 収支計画
前年度繰越金	6, 686, 577	5, 816, 023	8, 384, 895
収入の部			
会費収入	346, 000	365, 000	350, 000
公的助成金収入	6, 434, 230	6, 703, 327	2, 800, 000
民間助成金収入	3, 268, 296	5, 125, 676	3, 000, 000
寄付金収入	2, 143, 924	2, 067, 299	2, 000, 000
利息収入	627	40	0
雑収入	5	0	0
当年収入額	12,193,082	14,261,342	8,150,000
支出の部			
1. 事業費			
車椅子収集事業費	1, 050, 243	1, 187, 066	1, 050, 000
車椅子整備事業費	3, 313, 868	3, 082, 016	2, 840, 000
車椅子発送事業費	7, 991, 560	6, 486, 658	5, 820, 000
活動広報事業費	359, 110	527, 726	300, 000
事業費合計	12, 714, 781	11,283,466	10, 010, 000
2. 管理費			
事務消耗品費	7, 660	26, 949	
消耗品費	13, 868	31, 892	
水道光熱費	0	0	
旅費交通費	58, 640	44,734	
支払手数料	35, 725	22, 804	
交際費	40, 199	14, 420	
支払保険料	6, 650	0	
通信費	61, 607	103, 573	
複写費	2, 545	11, 304	
会議費	107, 975	130, 393	
諸会費	0	0	
雑費	13, 986	22, 935	
管理費合計	348, 855	409, 004	350, 000
総支出額	13, 063, 636	11, 692, 470	10, 360, 000
次期繰越金	5, 816, 023	8, 384, 895	6,174,895

平成 29 年(2017 年)度事業活動計画書

NPO 海外に子ども用車椅子を送る会

1. 車椅子収集事業

首都圏特別支援学校 PTA の定期継続的な収集協力

2. 車椅子整備事業

例会参加者による確実な整備 年間 360 台

青少年自立援助センターの安定的整備 年間 460 台

3. 車椅子発送事業

フィリピン	6 月	90 台	JVR 財団
ベトナム	10 月	170 台	ベトナム赤十字
ネパール	9 月	90 台	ポカラ CBRS
インドネシア	12 月	160 台	ソロ CBR-DT
ミャンマー	12 月	90 台	国立リハビリ病院、子ども病院
パラグアイ	3 月	90 台	障害者施設

合計 690 台

4. 活動広報事業

- ・「活動レポート」の発行(年間 4 回)
タイムリーな当会の海外での活動報告
- ・当会ホームページの充実

5. 活動資金確保活動

会員の増強
民間助成・地域慈善団体等の申請・寄付金の増加を目指す

☞当会に対する問い合わせ・連絡先

森田 祐和 ☎090-7239-7264

info@kotobukiya.com

片野 智之 ☎090-2839-6319

katano-tmyk@kit.hi-ho.ne.jp

当会活動にご支援ご協力ありがとうございます。

PTAが中心となって当会に車椅子の提供をいただいている学校

東京都	神奈川県
東京都立北特別支援学校	神奈川県立中原養護学校
東京都立城北特別支援学校	神奈川県立麻生養護学校
東京都立鹿本学園特別支援学校	横浜市立北綱島特別支援学校
東京都立墨東特別支援学校	横浜市立若葉台特別支援学校
東京都立城南特別支援学校	神奈川県立金沢養護学校
東京都立光明特別支援学校	横浜市立上菅田特別支援学校
東京都立志村学園	横浜市立東俣野特別支援学校
東京都立小平特別支援学校	神奈川県立三つ境養護学校
東京都立八王子東特別支援学校	神奈川県立座間養護学校
東京都立町田の丘学園	神奈川県立鎌倉養護学校
東京都立あきる野学園	神奈川県立相模原中央支援学校
東京都立青峰学園	計 11校
東京都立多摩桜の丘学園	埼玉県
東京都立村山特別支援学校	埼玉市立ひまわり特別支援学校
筑波大学付属桐ヶ丘特別支援学校	埼玉市立さくら草特別支援学校
計 15校	埼玉県蓮田特別支援学校
千葉県	埼玉県立越谷特別支援学校
千葉県立桜丘特別支援学校	埼玉県立宮代特別支援学校
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校
千葉県立松戸特別支援学校	埼玉県立日高特別支援学校
千葉県立船橋特別支援学校（小学）	埼玉県立和光特別支援学校
千葉県立船橋夏見特別支援学校（中高）	計 8校
計 5校	総計 39校



NPO法人
海外に子ども用車椅子を送る会

贈呈実績 23ヶ国 6,068台 (2017年3月現在)

当会について

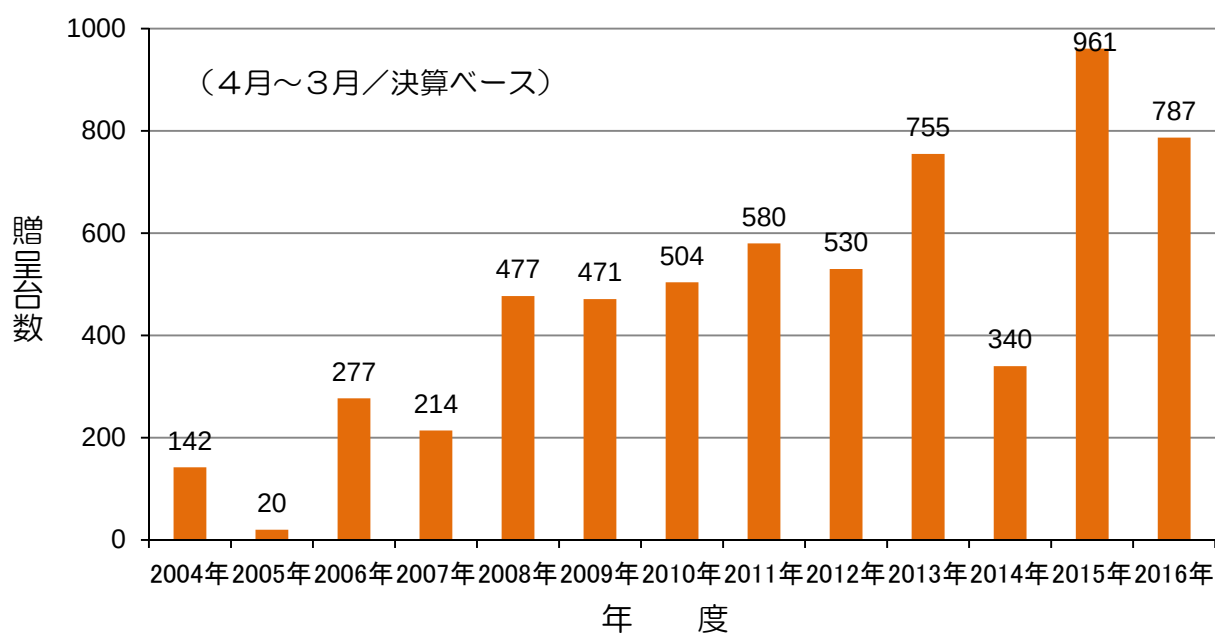
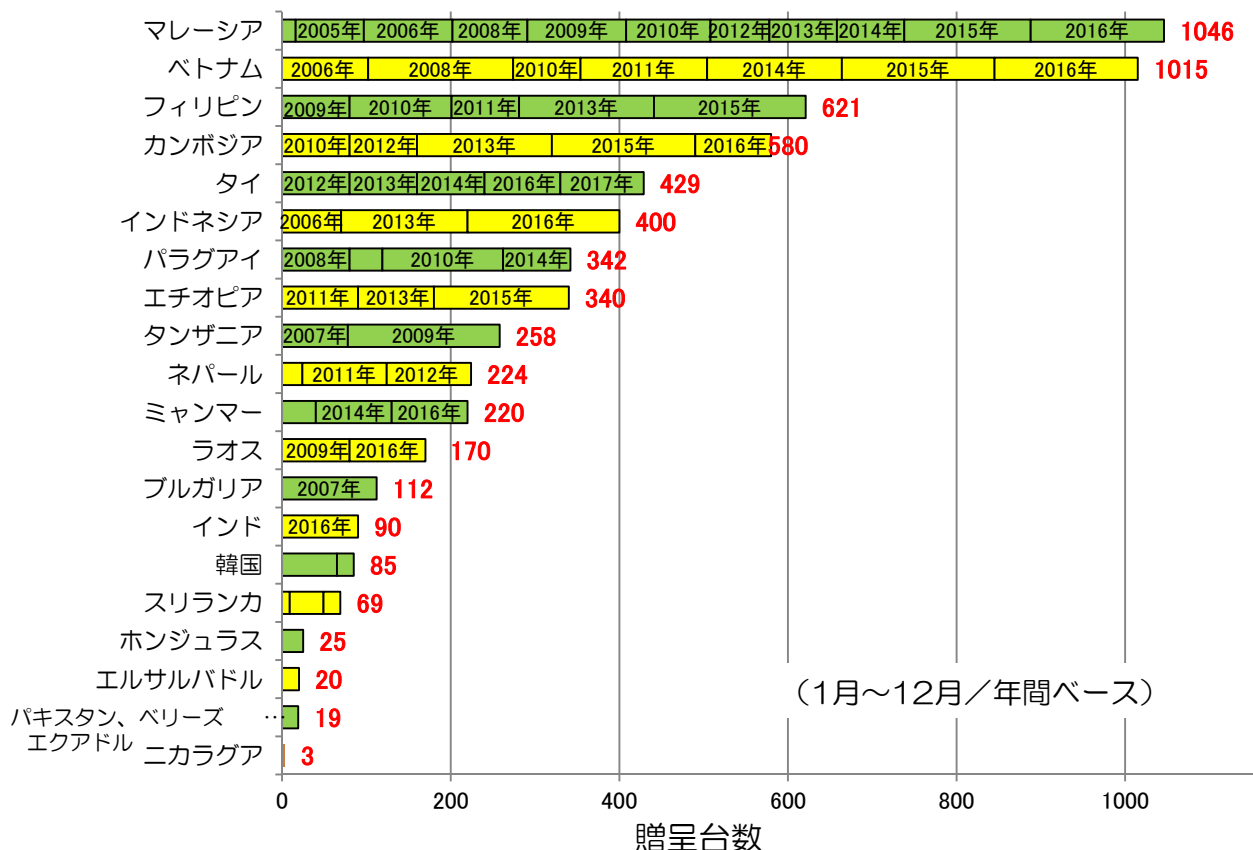
贈呈実績

支援のお願い

例会活動

支援団体・企業等

贈呈実績 (2017年3月現在 総数：6,068台)



— ۴۴ —

[illegible]

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2016年4月 第10号



フィリピン

フィリピンで喜びと感謝に 感動と感激!

2016年2月 90台

2016年2月9日マニラのJVR財団の講堂で障害者施設の職員と子どもと保護者70名それにアキノ大統領の妹君、日本大使館書記官とJVR財団理事長と関係者等約200名が出席され、贈呈式を行いました。肢体不自由児施設の合唱団がお礼に日本の歌も披露していただき**感謝感激!**



14歳の娘の母親は、今日の日を待ちわびていたと喜びを全身で表して**感謝されて感激!**



施設を訪問し寄贈した車椅子の使い方や空気の充填方法を説明したが**真剣さに感激!**



ミンドロ島で福発省主催の講演会で車椅子の説明をし、**熱心に聞き入ってくれて感激!**



マニラ郊外の山間部にある肢体不自由児を受け入れている公立学校では、寄贈した車椅子で健常児と同じように授業に参加できるようになったと**感謝会で竹製楽器の演奏に感激!**



エチオピア

北東部デシエの町の 子ども達へ

2016年2月
160台

アジスアベバから北東へ車で7時間、標高2500mの高地の町デシエで、市行政福祉責任者、日本大使館書記官、障害児の子どもと保護者等約70名、チェシャ財団幹部を招いて贈呈式を行いました。



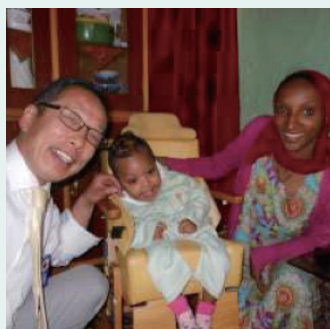
贈呈式の後で初めて車椅子に乗って喜ぶ子ども達

子ども達の家庭を訪ねて

近所の子どもが集まってきてくれて大喜び。母親の負担が軽減されました。家族の月収は5,000~12,000円位の家庭が多く、高価な車椅子は大切なものとなっています。



ジェマール君(8歳男児)



チェキュウブ君(1歳半男児)



メサッド君(4歳男児)



サヘル君(7歳男児)

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2016年7月 第11号



インドネシア

ジャワ島中部農村の 恵まれない子ども達へ

2016年5月 180台



2016年5月2日ソロ市民ホールでソロ市長、社会福祉局長、ソーシャルワーカー、障害児と家族、現地受け入れ団体計約80名を招いて180台の引渡し式を行いました。市長は日本の支援に感謝し、市からも障害者へのさらなる支援を約束しました。

(外務省日本NGO無償資金協力事業)



市長は母親と子どもを励まし支援を約束した。



車椅子の利用法とリハビリ治療の指導。



生まれて初めての車椅子に興奮する子どもと母親達。



現地協力団体の理事長とフィールドワーカーとともに毎日8時間以上悪路を車で移動しながら、農村の障害児の9件の家庭を訪問し、生活の様子や車椅子の活用状況を視察しました。車椅子で彼らの生活が改善され、家族の負担も軽減されることを期待しました。



フィリピン

セブ島とルソン島北部の子ども達へ

2016年6月 90台



2016年6月7日にはフィリピン中部のセブ島で、10日にはマニラの北部ルソン島北部のビガン市周辺の子ども達に車椅子を贈呈しました。それぞれの場所には、暑い中一日がかりの移動でしたが、車椅子に乗った子ども達の笑顔に疲れも吹き飛びました。

当会の詳しい活動内容はHPで <http://kaigaikurumaisu.org>

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート

2016年10月 第12号



ミャンマー

ミャンマーの 病院に通う子ども達へ

2016年9月 90台



2016年9月7日国立リハビリ病院、8日にヤンゴン子ども病院でミャンマー保健スポーツ省のDeputy Directorと日本大使館から参事官の来賓、病院関係者多数が出席してそれぞれの病院で治療を受けている子ども達に車椅子が引き渡しました。



保護者父兄も慣れない会場で緊張しています。その緊張状態の中でも常に我が子や孫を見守っている優しいまなざしが絶えません。



子どもを連れて家族でマンダレー旅行に行けた話や、車椅子で子どもが家の周りを歩き、近所の人達から声をかけられるのを喜んでいる話を聞くことが出来ました。その子の小さな社会参加の始まりです。



タイ

タイの5つの特別支援学校の子どもへ

2016年6月 90台



2016年6月29日にタイの肢体障害者協会の協力を得て、タイの5つの特別支援学校に通う子ども達に贈呈しました。

当会の詳しい活動内容はHPで <http://kaigaikurumaisu.org>

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2017年1月 第13号



インド

はじめてインドの 恵まれない子ども達へ

2016年10月 90台



オランダ障害児支援団体NGOリリアナ財団と当会との共同プロジェクトでインドに初めてインド北部のヒンズー教の聖地バラカシにある障害児施設に90台送りました。2016年10月5日に約80名の関係者が出席し引渡式を行い、その後子ども達の家族を訪問しました。



アレックス理事長のお礼の挨拶報告



当会から日本で車椅子の提供や整備活動などに参加し支援してくれているボランティアの活動



インド北部の貧しい農村地帯でこれまで車椅子を使ったことがなかったので、嬉しそうにはしゃぐ子ども達と喜ぶ家族の人たち



ベトナム

ベトナム赤十字へ累計1,000台達成記念の贈呈式

2016年12月 170台



2006年からベトナムへは北部15省のベトナム赤十字支部を通じて今回で累計1,048台を届けました。その1,000台達成記念と合わせて赤十字70周年を祝い赤十字幹部が出席されて、贈呈式を2016年12月22日にタンホア市で行いました。ベトナム戦争時の枯葉剤の影響で障害を持つ子どもが多く農村部では車椅子が十分行き届いておらず、継続的な支援を要請されました。

当会の詳しい活動内容はHPで <http://kaigaikurumaisu.org>



**The Volunteers Group
to Send Wheelchairs
to Overseas Children
J A P A N**